

一房のぶどう



第36号

平成28年3月15日 編集・発行／あきる野市教育委員会
〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)



秋川流域小中学校駅伝大会風景

教育長

就任にあたって

あきる野市教育委員会

教育長 私市 豊



私は、昨年11月26日、地方教育の新制度の下に教育長に就任しました。あきる野市の教育行政を、指針として定められている「教育大綱」及び「教育基本計画（第2次）」を基に、新たな課題もしっかりと受け止めて、進めて行く考えであります。

さて、広報誌「一房のぶどう」は、宮林徹前教育長が、平成16年7月に第1号を発行し、以来、毎年3回の発行を重ね、今回第36号となりました。「一房のぶどう」の意味が創刊号に、「ぶどうは、一粒一粒がしっかりと結びついて一房になっている。これは、あきる野市の教育が多くの人に支えられ、大きな成果を上げて行く姿を示し、家庭・学校・地域社会・教育委員会が互いに信頼し合い、協力していることを意味している。」と記されています。「あきる野っ子」が育つ教育は、家庭・学校・地域・教育委員会が、「一房のぶどう」のように連携して取り組むことによって実現するものであります。

現在、市内16の小・中学校は、不断の努力の成果で、どの学校も落ち着いています。今こそ学力の向上対策に取り組むときです。市長部局の理解をいただき、平成28年は、「学力の向上」を重点施策として取り組む考えであります。

36号発行にあたり、これからも、あきる野の教育に関する情報や出来事を、丁寧に市民の皆様にお知らせしてまいります。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。巻頭の挨拶いたします。